

まちづくり政策についての意見交換会

テ - ブル：雇用

コーディネーター：徳永繁樹 / 書記：小島秀範

出席者：議会 永橋議長・寺井議員・矢野議員

J C 青野淳一理事長・浅海裕也・木下誠・渡辺仁

【主な論点について】

・今治圏域の景気・雇用の現状認識

昨秋のリ・マンショック等の影響により、造船・海運という本市の主要産業にかげりが見え始めている一方、タオル・繊維産業はジャパンプランドの確立化に伴い、一部では前年同時期対比では上向き、しかし、輸入浸透率は70%を越えるなど以前として厳しい状況。

また、公共投資の減少に伴い、建設関連産業は厳冬の時代と言っても過言ではない。農林水産業も自立には程遠い状況

総体として、出席者全員から体感的にも指数的にも景気悪化と認識。

・現状打開に向けた施策

地域資源を活かした地域活性化対策

・農商工連携による農林水産業の振興

(内子町：フレッシュマ - トからり、今治市：三皿園等の事例紹介)

・観光振興による外貨の獲得(交流人口の増大による賑わいの創出等)

(市民によるお宝探偵団事業の提案 市民による地域資源の掘り下げを喚起)

・海事産業の更なる進展

・次世代の担い手の育成

・産業・雇用創出の支援策

・国、県、市の景気・雇用対策の説明

(景気・雇用共、民間に依存しているのが現状で、行政の支援には限界がある？ 地方も地域における成長産業を特定し、支援をしてもいいのではないか。

また、麻生政権下のばらまき施策では一過性にすぎない。また、政権交代による保護主義的な政策(農業の戸別所得補償制度等)ではやる気のある方が報われない。

政治の姿として、頑張った方が報われ、報われた方が苦しい環境にある

方に手を差し伸べるスキームを作る必要がある 県：愛と心のネットワーク JC：アドマイヤ型社会の創造)

- ・次代を担う人材の育成が喫緊の課題
(今治地域造船業人材育成センター及び地場産業振興センターの取組み紹介 市民への情報提供と情報共有が不可欠)

- ・JCメンバーから市議会への要望事項
 - ・子育て中の女性への支援をお願いしたい
(ファミリーサポートセンターのような仕組み 地域が一体となって取り組めないか？ハローワークにはマザースサロンが設置され、女性に特化した窓口が出来ている旨の説明有り)
 - ・若年層の就職率向上と離職率低下への支援をお願いしたい
(県によるジョブカフェ愛ワークの取組み説明有り)
 - ・障害者雇用への支援をお願いしたい